

テルマエ通信 2015年 第1号  
〜各ゼミ紹介・横断プロジェクトについて〜

皆様こんにちは。政策創造研究科

小峰ゼミM2の前身です。新入生の人たちはもう学校生活に慣れましたでしょうか。ここでは先生も生徒も非常に多種多様な経歴や知識を持っています。なので、授業はもちろんのこと、生徒同士で交流を深めることで新たに知見を広げたり、協力して何か新しいことを始めたりすることが出来ます。

さて、そこで今回は政策創造研究科にある8つのゼミの特徴や活動内容等を紹介していきます。それぞれのゼミがどのようなことをしているかを知ってもらい、横断プロジェクトに興味を持ってもらうことで、ゼミ間の壁を取り除き、より交流を深めてもらいたいと思っております。

【小峰ゼミ】

小峰ゼミは小峰隆夫教授のもと、小規模ながらも、毎回活発な議論が行われています。小峰教授は日本経済に密に関わる少子高齢化や、人口移動等についての研究を専門としています。そしてゼミ生はそれらの問題を踏まえ

つ、論文作成をしています。研究テーマはバラバラですが、根底にあるものは共通しているため、有意義なゼミとなっています。毎月1回は小峰教授との議論をすることになっており、今月は小峰教授の著書である「日本経済に明日はあるのか」を活用して今後の日本について議論しました。また、毎年様々な地域の視察を行い、その地域の現状や問題について考えています。そして今年度は金沢視察を予定しています。



【石山ゼミ】

石山ゼミのご紹介です。2015年度あらたに5名のM1の方をお迎えし、修士課程15名、研究生3名、博士課程7名、併せて25名のメンバー構成となりました。石山恒貴先生のご専門は雇用及び人的資源管理で、民間企業

でのお仕事の経験も長く、多岐にわたる分野での人脈が大変豊富です。ユニークな取組をする企業、NPO、学習組織などと連携した課外活動や合同ゼミが次々と企画され、また希望があればゼミ外の方の参加も歓迎するなど、枠にとらわれないゼミ活動が魅力です。昨年度実施した活動は、静岡の企業視察、GCDF・H06継続学習との合同勉強会、NPO二枚目の名刺の成果発表会、キャリア権出前授業、浜野製作所訪問、MSD 工場見学等多数。そして、今年度は3×3 Labo見学、武蔵境自動車学校視察、人材育成マネジメント研究会との合同勉強会など、オープンな学びの機会はますます加速しています。是非一度石山ゼミに遊びにいらしてください！





### 【上山ゼミ】

かつては江戸川区の職員をされており、政策学と工学の博士号、さらに一級建築士の資格をお持ちの上山肇先生が率いる上山ゼミは2013年に発足。今年度は博士課程2名、修士課程8名、研究生1名が在籍し、公務員や留学生など様々な学生が共に「まちづくり」について勉強しています。

上山ゼミの強みは、修士論文に向けた計画的な研究と研究成果の発信です。

2014年度は、当時M2の学生が神戸市で開催された日本建築学会で発表し、当時M1の全員でその学会を見学しました。学会終了後は神戸市の町並み視察も行いました。今年度のゼミ生は、M2以上の全員が日本建築学会で発表し、M1は全員でその学会を見学します。

横断プロジェクトでは、2013年度は静岡市にて物流港から賑いの港づくりへ転換を進める清水港を調査しました。2014年度は長野県小布施町を訪問し、まちづくりを交流と町並みの2チームに分かれた上で調査をしました。小布施町での調査結果を学会で報告をした学生もいます。

今年度の横断プロジェクトにおいて

も、まちづくりやコミュニティについて調査し、修士論文のヒントにもなり得る調査をする予定です。



### 【増淵ゼミ】

増淵先生は明治大学文学部を卒業後、放送及び音楽産業界で活動。FM北海道、東芝EMI、ソニーミュージックを経て、法政大学大学院社会科学研究所修了。その後、東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士、博士取得。法政大学専門職大学院イノベーションマネジメント研究科客員教授を経て本研究科教授に至る。

また、コンテンツツーリズム、コンテンツによる地域ブランド形成、メディア・コンテンツによる地域振興、コミュニティ再生などを中心に行っており、フィールドは国内外問わず活躍さ

れています。

増淵ゼミでは、先生の幅広い知識のもと様々な研究テーマを持つ学生が集い、学んでいます。

ゼミでは主に、輪読やまち歩き（昨年は、原宿、小田原、横浜中華街、神楽坂etc.）を中心に行っており、自身でその街の文化やコンテンツを身近に感じ研究に活かしています。今年度は外部講師をお招きして、講演してもらいます。研究テーマを問わず様々な生の声を聞ける事は学生たちにとっても良い刺激になる事でしょう。

また、今年度の横断ゼミプロジェクトは鶯谷をまち歩きする予定です。風俗文化が根付く街であると共に文豪正岡子規が晩年過ごした地でもあります。様々な顔を持つ鶯谷を身近に感じ、新たな発見ができるプロジェクトを企画しています。





【須藤ゼミ】

須藤ゼミには、修士10人・博士2人、計12人の学生が所属しています。先生のご専門は「観光社会学」で、観光現象が社会に及ぼす影響などを研究しています。調査のために観光地に赴くことは、ツーリストとして観光地を眺める視点と全く違っており、そこから人間の、現代社会の在り様をまざまざと感じ取ることができます。ゼミ生もそれぞれ、社会と観光の関係について様々な視点から調査・研究を進めているところです。

専門が観光というだけあり、私たちのゼミでは横断プロジェクトやフィールドワークで定番な観光地に出かけることが多くなっています。昨年の横断プロジェクトでは湯河原・熱海に行き、「かつて栄えた」観光地としての現状を探りました。昭和の香り残る観光地では、今ではその古さが逆にツーリストにとって新鮮にとらえられるよう、ネタ的に観光地が消費されていることを実感しました。今年の横断プロジェクトでは、福島の温泉地に行き、その後、グリーンツーリズムを体験する予定でいます。新しいツーリズムの形を

感じ取ってこようと思っています。



【岡本ゼミ】

「事件は会議室で起きてるんじゃない。現場で起きてるんだ！」(青島俊作)。岡本ゼミの研究姿勢は「現場」です。

ゼミの活動内容は、自ら、現場に行く事で見えてくる特徴的な背景を学ぶこととはもちろん、基礎的な知識や論理的思考力と創造力を大事にし、常に理論と実践(現場)を行ったり来たりします。本ゼミでは、先生の推薦図書の輪読と、修士論文の準備状況に関する確認の時間を設けています。また、定期的に学会・シンポジウムへの参加、外部講師による授業など、バラエティーに富んだゼミ活動をしています。

昨年度の具体的な外部活動に関しては、地域活性化学会・全国研究大会(網走市)、関東支部会への参加、法政大学地

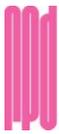
域研究センター開催のシンポジウム(年3回)への参加と、群馬県東吾妻町の大戸診療所、島根県浜田市・広島県熊野町、長野県飯田市・伊那市(横断プロジェクト)、徳島県神山町「神山バレー」、上勝町「(株)いろどり」への視察を行いました。



【坂本ゼミ】

中小企業7000社余りを訪れ、「いい会社」を研究している坂本光司教授の元、66名(20代〜70代)のゼミ生が企業視察を通して全国へ出向き、実際の現場や経営者の声を聴き、それぞれの活動(経営)に活かしております。最近では毎年ゼミ生との共著2〜3冊を発行しています。

昨年「人を大切にする経営学会」を創立されました。その名の通り、「人を



大事に」することが今後の社会の流れではないでしょうか。

今年の全体研究テーマは「社員と家族が喜ぶ福利厚生100例(仮)」ユニークな表彰制度、子連れ入社、社内家族運動会、昼寝奨励制度など。各自1社受け持ち出版という成果物とする予定です。



【樋口ゼミ】

樋口ゼミは、CSR(企業の社会的責任)論を基本テーマとしつつ、幅広い視野で、現代企業と社会的問題に取り組んでいます。CSR論と言っても、論理や道徳の次元の議論をするのではなく、「市場経済とCSR」の関係を手がかり、グローバルな課題、地域の課題に対して、何か出来るのかを具体的に

に考えることとしていきます。ゼミ生は、各人の問題意識に従い、それぞれ消費者問題、環境問題、企業、介護予防、地域の活性化など、様々なテーマについて、各自、研究を深めています。

ゼミ活動は、参考文献の輪読や、テーマ毎のディベートのほか、ゲスト・スピーカーの招聘と意見交換、他大学や地域との交流、ゼミ旅行など、ゼミ生の自主的な提案を尊重しつつ、年間を通じて多彩な活動を展開しています。2013年度は、長野善光寺界隈の空き家プロジェクト調査や小布施訪問、2014年度は、北海道の市民風車の調査を行いました。樋口ゼミのモットーは「豊かに、そして楽しく学ぼう」、毎週土曜日、その週の学習をまとめつつ、仲間と忌憚なく語り合う時間を共有できればと願っています。



【横断プロジェクトプレゼン日程】

各ゼミで行う横断プロジェクトのプレゼンを行います。

日時は、土曜日の昼休みからです。割り当ては、

6月13日 小峰ゼミ・石山ゼミ

6月20日 増淵ゼミ・須藤ゼミ・上山ゼミ

6月27日 岡本ゼミ・樋口ゼミ・坂本ゼミ

となります。是非見に来てください。